

この文章は、「失敗から学んだことについて述べなさい(600字以内)」というテーマに対する作文です。以下【1】【2】の問いに答えなさい。

【2】この文章を構成する4つの段落の中で、以下の役割を持つ段落はどれか答えなさい。

- | | |
|---------------------------------|----|
| ●説明してきた考えを踏まえて、今後や将来への展望を述べている。 | 段落 |
| ●考えの根拠として、筆者が起こした行動や成果を説明する。 | 段落 |
| ●テーマに対する筆者の考えを明確に述べている。 | 段落 |
| ●考えの根拠として、テーマに沿った実際の出来事を説明する。 | 段落 |

《原稿用紙》	《添削欄》
作業を テキパキ 行う必要がある。	話し言葉(迅速に)

(第一段落(序論)/第二段落(本論①)/第三段落(本論②)/第四段落(結論)から)

番問 号題	学年 3年	クラス 2組	出 席 番号	氏名	高校名
タ ル イ	3	2	14	東京 太郎	都立東京第一学園 高校

自分の失敗経験は、遅刻により授業に参加できなかったこととす。その時の後悔を契機に、規則正しい生活の大切さを学びました。早起きが苦手な私は、入学当初から始業時間ギリギリの登校や遅刻を繰り返していました。ある朝、起きると時刻は9時で慌てて家を出ました。しかもその日の午前中は、得意科目の家庭科の中でも最も好きな調理実習でした。ようやく到着した時には、授業終了の鐘が鳴っていて参加できませんでした。そして、二度と遅刻をしないために、生活全般を見直す必要があることに気付きました。そこで、しなくてもよいことへ遊びの時間へを区別し、しなくてはいけないことから順番に時間をとっていきました。時には自由な時間へ友人と遊ぶ時間へが減ることになりましたが、事情を話し、お互い納得しました。間の使い方を意識することとで始業直前の登校が減り、遅刻することもなくなりました。家にたがって、行動にも余裕が出て、家での家事に関わることで、これまで興味があっても実行できなかった料理に挑戦できるようになりました。この経験を契機に、今では製パンの仕事を、将来の目標にしたいと考えるようになりました。早起きが苦手だった時の自分では興味を持つまでで終わっていたので、遅刻という失敗をしたことで、生活を見直し、自分自身を成長させられました。今後、規則正しい生活を意識することとで、目標に向けて行動していきます。

① 高校名は正式名称で書く
← ② (東京都立第一学園高等学校)

添
削
欄